

目 次

< 新入生特集 > 確かな「知」を求めて (附属図書館長 鹿島 正裕)	2
中央図書館フロアマップ	4
自然科学系図書館ツアーへようこそ!	6
本学教員著作等寄贈図書リスト (2005年11月 ~ 2006年2月)	7
特別展示 : 特殊文庫紹介	8
としょかん日誌 (2006年1月 ~ 2月)	8



梅 薫 (中央図書館)

<新入生特集>

確かな「知」を求めて

附属図書館長 鹿島 正裕

「正解」は一つか？

皆さん、金沢大学ご入学おめでとう。新入生に図書館の利用について何か述べるよう求められましたが、私自身図書館長としては新米で、本稿執筆時点ではまだ就任もしていませんので、ここでは図書館長としての考えというより、長年図書館を利用してきた先輩として最近思うことを、学部入学生を念頭においてお話しします。

皆さんは、これまで大学入試のための勉強を中心にきて、問題に対する正解になるような知識を暗記し、あるいは正解を導く解き方を学ぼうと、精力を傾けてこられたことでしょう。それはそれで、大学での勉強、また社会生活のための基礎ないし土台になりますが、大学での学問は、そもそもこれまでの知識や、問題の解法に疑問を抱くことによって進歩するものなので、皆さんも発想を転換してください。

つまり、「正解」は一つだけとは限らないし、誰もが認める正解などないかもしれない、ということに慣れてください。もちろん皆さんは、これまでも、たとえば憲法第9条の解釈を巡って、自衛隊は違憲だ、いや合憲だと、政府・与党と野党（の一部？）、また法曹や憲法学者の間で意見が分かれていることなどに気づいてこられたでしょう。高校での教育や大学入試では、そうした論争的なテーマを取り上げることが避けられているので、皆さんもあまり自分で考える必要がなかったはずです。



鹿島 正裕

KASHIMA Masahiro
2006年4月1日から
附属図書館長。
大学院人間社会環境研
究科及び法学部教授。

価値観の対立

しかし、学問の世界では、そして社会生活でも（まして国際社会では）、人により「何が正しいか」についての見方・意見が違うことがままあり、皆さんも誰に賛成するかの判断を迫られます。第9条はいちおう国内問題ですが、首相の靖国神社参拝が合憲か違憲か、政治的に適切か否かは、国内問題であるにとどまらず中国や韓国との外交問題になっていることもご存知でしょう。あるいは、最近のイラクやパレスチナについての報道に注意していれば、イスラム過激派が、キリスト教徒やユダヤ教徒、さらには同じイスラム教徒でも別の宗派（スンニー派・シーア派など）に対してテロ行為をなしているのが分かります。彼らは、自分達は絶対的に正しくて、異教徒は殺しても許されると信じているのです（そこには、思想だけでなく権力や富の分配を巡る争いも絡んでいます）。

現代の日本は、そうとう言論や学問の自由があり、政府や多数派の見解を批判して「通説」を変えさせることもある程度可能ですが、第二次大戦までの日本は軍国主義的・全体主義的でしたし、今も多くの発展途上国ではそうした自由は乏しいです。そこでは、子供は親や教師から一方的な見方を絶対的に正しいものと教え込まれ、疑うことも許されません。そして異教徒や外国人を排斥するよう促されることもしばしばです。せっかく自由な日本にいても、右派の人は右派の言説しか受けつけず、左派の人は左派の言説しか受けつけない傾向があって、反対派の人に暴力を振るう場合すらあります。そのような偏狭な精神から脱却するためには、様々な事柄について、多様な見方・意見があることを前向きに受けとめ（そこにこそ進歩の余地があるかもしれません）、いろいろ比較検討して自分の見解をもつようにしなければなりません。

より正しい見方を図書館で

異見に寛容であれと言っても、どんな見方・意見も等価であって優劣はないと思え、というわけではありません。極端な意見の多くは、客観的検証に耐えない、誤った・あるいは意図的な嘘でさえある「事実」を拠り所にしています。コンピューター時代に育った皆さんは、ややもすると、本や論文を集めて読むより、手っ取り早くインターネットの検索で「情報」を集めて勉強したり、レポートを書こうとしがちになるかもしれません（そういう大学生はかなり多いです）。もちろんインターネットで有用な情報が容易に手に入ることは確かですが、匿名の書き手や怪しげなサイトが流す言説は、民主党の

議員が引っかけた「ガセネタ」も一例ですが、偏見や極論や虚偽に満ちていることがありますので、よほど注意してください。

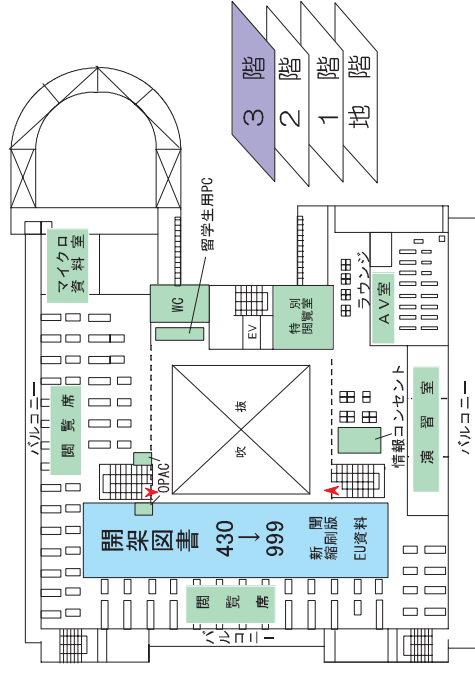
その点、附属図書館にある膨大な書物や雑誌は、長年にわたり多くの教員が選んで収集してきたもので、その内容には比較的信用がかけます。膨大すぎてどれを読んだらよいか分からないと思われるかもしれませんが、キーワードで検索することができますし、さらに図書館カウンターの職員や関係分野の教員に助言を求めることもできます。また、膨大な図書といってもほとんどは古かったり、検索で見つけた本や雑誌論文が書架にないかもしれません。そうした場合、教員の研究室や、他大学等の図書館から（最近の書物も）借り出すことができそうですし、図書館にない雑誌もオンラインで論文を入手できる可能性は高いです。

もちろん、図書館を通じて入手した情報なら、すべて信用して受け入れてよい、などとは言いません。前述のように、調べたいテーマを得たなら、それに関する多様なデータや研究・論説を集めて、何が一番真実に近い、あるいは正義に適いそうかを、自分で判断しなければなりません。そのように考えていくと、そもそも問題の立て方がおかしいとか、別の問題を考える必要があるということに気づく場合もあるでしょう。そうして私たちは学問、あるいは確かな「知」に近づいていくのであり、そのような「問題発見能力」が、大学受験に要求された「問題解決能力」に加えて求められることが、大学の大学であるゆえんなのです。

最後に、東京の国会図書館の壁に刻まれた金言を、皆さんに贈ります。

「真理が我らを自由にする」

中央図書館フロアマップ

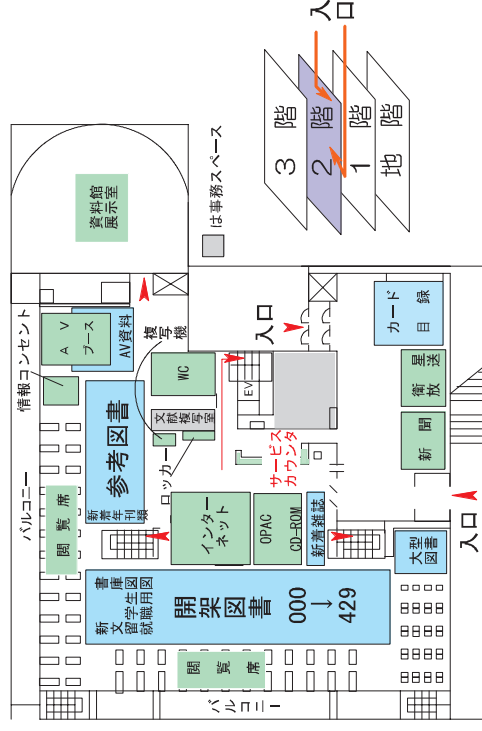


■ 3 階

開架図書、新聞縮刷版、EU資料を配置しています。

施設・設備

AV室・演習室・マイクロ資料室・特別閲覧室



■ 2 階

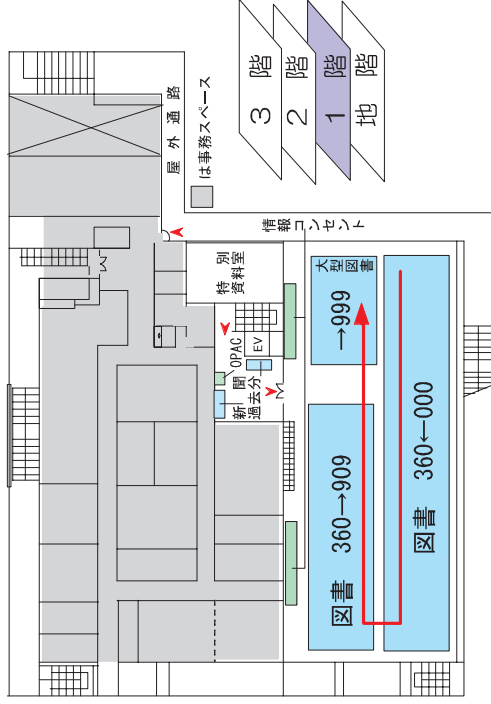
開架図書、参考図書、新着雑誌、ビデオ・CD・DVD等の資料を配置しています。

資料の貸出/返却をはじめとする利用手続き、利用相談はサービスカウンターで受け付けています。

施設・設備

蔵書/インターネット/CD-ROM検索コーナー
AVブース・衛星放送受信装置

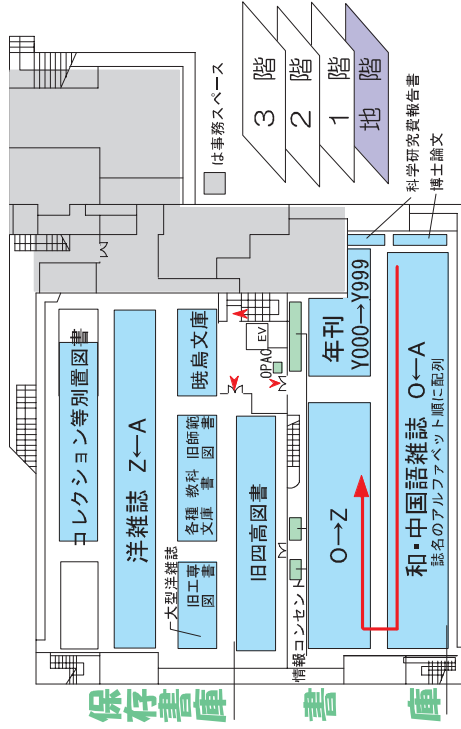
■ 1 階



和図書、洋書、新聞(過去3ヶ月分)を配置していきま^す。特別資料室、事務室があります。

2階サービスカウンターで入庫票を受け取りカウンター裏にある通路から入ってください。

■ 地 階



雑誌、前身校(四高、師範、工専など)蔵書のほか、**暁烏文庫**などの各文庫、**その他各種コレクション**を配置していきま^す。

年刊資料、**科学研究費報告書**、**博士論文**もこちらです。

自然科学系図書館ツアーへようこそ！

自然科学系図書館は、平成17年4月に角間南キャンパスにオープンした新しい図書館です。理学・薬学・工学を主軸とした自然科学系分野の学術資料を収集、保存しています。

【1】自然科学本館 G2階，正面玄関からの行き方をご紹介します。右手の食堂，売店近くのエレベータ又は階段で1階へ上がってください。【2】1階通路に「金沢大学自然科学系図書館」の看板がかかっています。通路を進みますと，右手に白い自動ドアがあります。こちらが自然科学系図書館の【3】入口です。【4】エントランスには，入館ゲート，電子掲示板があります。電子掲示板では，館内マナーをはじめ，新しいお知らせを掲示しています。ぜひご覧ください。

いよいよ入館です。利用券（学生証）を【5】利用券の通し方のようにさしこみ，手前に引いてください。自動でゲートが開きますのでお進みください。お手数でも一人ずつお願いします。左手に【6】サービスカウンターがあり，【7】サービスカウンター付近にOPAC専用端末や自動貸出装置があります。新着図書の展示はこちらで行なっています。前方には，【8】新聞コーナー・リフレッシュコーナーがあります。音声が必要な方にはヘッドホンを貸出していますので，サービスカウンターへお申込みください。右手の【9】雑誌バックナンバーコーナーには，最近10年分の雑誌が置かれています。外国雑誌はアルファベット順，国内雑誌はあいうえお順に並んでいます。

【10】新着雑誌コーナーでは，年6回以上発行されるタイトルの当年分を展示していますので，そちらもご覧ください。また，雑誌バックナンバーコーナー付近には，【11】DVD・ビデオコーナーがあります。館内視聴覚資料の鑑賞ができますのでご利用ください。

10年以上前の雑誌と一部の図書は，自動化書庫に入庫されています。OPAC専用端末から出庫しますので，初めて自動化書庫を利用される方はサービスカウンターにお尋ねください。

次に階段を上がってみましょう。エレベーターが必要な方はサービスカウンターへお申し出ください。2階には，図書が置かれています。【12】

【1】自然科学本館 G2階



【2】1階通路



【3】入口



【4】エントランス



【5】利用券の通し方



【6】サービスカウンター



【7】サービスカウンター付近



【8】新聞コーナー・リフレッシュコーナー



【9】雑誌バックナンバーコーナー



【10】新着雑誌コーナー



【11】DVD・ビデオコーナー



【12】参考図書コーナー



参考図書コーナーと【13】開架図書コーナーに分かれており、請求記号（分類番号）順に並んでいます。請求記号は、OPACでご確認ください。開架図書コーナーの図書は貸出ができます。貸出手続きは1階の自動貸出装置をご利用ください。返却はサービスカウンターへお願いします。

自然科学系図書館の一番下の階であるG1階にも行ってみましょう。【14】教材利用コーナー、談話コーナーがありますのでご利用ください。また、【15】AVホール、演習室、グループ学習室、研究個室もあります。こちらはWebでご予約の上、ご利用ください。

以上で自然科学系図書館ツアーを終わります。わからないことがありましたらサービスカウンターへお尋ねください。閲覧席側の【16】窓から見える外の景色は緑豊かで、大学内の建物を一望できます。読書や学習の時間をゆっくりとお過ごし

【13】開架図書コーナー



【14】教材利用コーナー、談話コーナー



【15】AVホール



【16】窓から見える外の景色



ください。皆様のご来館をお待ちしています。
（自然科学系図書館係 香川文恵）

ありがとうございました 本学教員著作等寄贈図書リスト 2005 / 11 ~ 2006 / 2

永川宅和（名誉教授）
菅原正都（大学院医学系研究科講師）共著
胆道癌登録成績が教える胆道癌の診断と治療のあり方
金原出版 2005.3（医図書 W765 : N147）

梶川伸一（文学部教授）執筆
レーニン：革命ロシアの光と影
社会評論社 2005.6（図開架309.3 : R413）

山嶋哲盛（大学院医学系研究科助教授）著
明治金澤の蘭方医たち 2冊
慧文社 2005.7（図書庫490.2143 : Y19）
（医図書 WZ70 : M512）

川幡佳一（教育学部教授）分担執筆
カイアシ類学入門
東海大学出版会 2005.9（図開架485.3 : K13）

神谷浩夫（文学部教授）分担執筆
川の恵みものがたり：手取川のトリビア：テドリビア
手取川エコミュ - ジアム構想プロジェクトチ - ム
2005.5（図開架452.94 : K22）

橋本哲哉（理事(情報担当)副学長，社会貢献室長）共著
石川県の歴史
山川出版社 2000.3（図開架214.3 : I79）

永坂鉄夫（名誉教授）著
ドンキホーテの述懐：随想 2冊
前田書店 2005.8（図開架904 : N147）
（医図書 WZ350 : N147）

山本博（大学院医学系研究科教授・同科長）共著
분자세포생물학·분자의학
= 医学のための基礎分子細胞生物学
서울 : 월드사이언스 2001.3（医図書 QU4 : I24）

米田幸雄（大学院自然科学研究科教授）著
Amino acid signaling 04
Research Signpost 2005
（図開架494.2 : A517，図書庫494.2 : A517）
（自然系図464.2 : A517） 2冊

畑田恵利子（大学院医学系研究科助手）著
海の乾杯
詩学社 2004.11（図書庫911.56 : H361）

西村聡（文学部教授）編著
大鼓役者の家と芸
飯嶋調寿会 2005.10（図開架773 : N147）

中村志郎（名誉教授）著
文学というもの：つれづれに
北國新聞社出版局 2005.8（図開架904 : N163）

森英一（教育学部教授）著
五木寛之の文学：ひとつの読み方
能登印刷出版部 2005.7（図開架910.268 : I89）

横川善正（非常勤講師）著

スコットランド石と水の国

岩波書店 2000.6（図開架293.32：Y54）

誰も知らないイタリアの小さなホスピス

岩波書店 2005.5（図書庫490.15：Y54）

加藤和夫（教育学部教授）監修

新頑張りまっし金沢ことば

北國新聞社 2005.11（図開架818.43：S556）

出村慎一（教育学部教授）監修

幼児の体力・運動能力の科学：その測定評価の理論と実際

ナッブ 2005.3（図開架376.14：M972）

健康・スポーツ科学講義

杏林書院2005.10（図開架780.19：K33）

出村慎一（教育学部教授）編著

テキスト保健体育

大修館書店 2002.5（図書庫780：T266）

東田雅博（文学部教授）著

纏足（てんそく）の発見：ある英国女性と清末の中国

大修館書店 2004.12（図書庫383.7：T633）

堀田優子（文学部助教授）共著

認知文法の新展開：カテゴリー化と用法基盤モデル

研究社 2005.7（図開架801.5：H413）

（文英文801.5：H413）

平澤一（名誉教授）著

金城訪碑録

平澤一 [2005]（図開架214.3：H668）

野村真理（経済学部教授）共同執筆

中央ヨーロッパの可能性

昭和堂 2006.2（図開架234：O88）

清水邦彦（文学部助教授）共訳

水子

青木書店 2006.1（図開架387：L164）

特別展示：特殊文庫紹介

金沢大学資料館で開催中の新入生展において、附属図書館の特殊文庫を紹介する特別展示を行っています。

附属図書館には、金沢大学の前身校である旧制第四高等学校の教官や、大学にゆかりのある方々の寄贈による特殊文庫がいくつかあります。

これらの文庫中には、江戸期の写本をはじめ、多くの和装本が含まれています。またその内容も、歴史に関するものだけでなく、浄瑠璃・和算・有職故実など様々な分野に及んでいます。今回の展示では、ふだんあまり目にする事の少ないこれらの特殊文庫を紹介します。是非、一度足を運んでみてください。（相互利用係 池上佳芳里）



展示中の資料

としょかん日誌（2006年1月～2月）

- 1月17日 平成17年度日本古典籍講習会（国文学研究所・国立国会図書館）池上佳芳里（参考調査係）受講
- 1月29日 Open Repositories 2006（オーストラリア）木下聡（図書館サービス課長）橋洋平（雑誌情報係長）～5日 参加
- 2月9日 長崎大学附属図書館連続講演会第三回講演会（長崎大学）押見智美（自然系情報サービス係）、内藤裕美子（図書情報係）参加
- 2月10日 SPARC/JAPAN 連続セミナー第9回（国立情報学研究所）内島秀樹（情報企画課課長補佐）参加

- 2月15日 CSI 構築推進委託推進事業実務担当者会議（国立情報学研究所）橋洋平（雑誌情報係長）、村田勝俊（資料サービス係長）、伊川麻里子（雑誌情報係）出席
- 2月21日 平成18年度 NACSIS - CAT/ILL 講習会実施検討会議（国立情報学研究所）林裕子（図書情報係）出席
- 2月24日 第2回レファレンス共同データベース事業参加館フォーラム（国立国会図書館関西館）押見智美（自然系情報サービス係）参加

金沢大学附属図書館報「こだま」第159号

発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会

〒920-1192 金沢市角間町 電話 076 264-5200

ホームページURL <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

電子メールアドレス etsuran@ad.kanazawa-u.ac.jp

読者の皆様からのおたよりをお待ちしております。

2006年4月1日発行

印刷：株式会社 橋本確文堂

表題地模様©Toku Yusui(加賀友禅染絵『さやぐ、おどる』。由水十久(初代。1913-1988)は金沢出身の加賀友禅作家です。)